

# 5 小中一貫教育グランドデザイン

## 平成 28 年度稲田小中一貫教育グランドデザイン〈施設一体型〉

第 6 次福島県総合教育計画  
平成 28 年度アクションプラン

稲田小

稲田中

須賀川市教育委員会「小中一貫教育」目的

中学校区ごとに、学校が保護者や地域住民と目指す児童生徒像を共有し、その実現のために小・中学校が固く連携しながら、9年間のスパンで編成した教育課程を中心として系統的な教育や課題解決のための連続性のある取組を行うことにより、一人ひとりの児童生徒の個性の伸長と生きぬく力を育成する。

### 保護者の願い

- 望ましい人間関係を築きながら楽しい学校生活を送ってほしい。
- 善悪の判断力、社会人としてのマナーを身に付けてほしい。
- 確かな学力を身に付け、進路実現を果たしてほしい。
- 心身ともに健康でたくましく成長してほしい。

### 教育目標

豊かな人間性や  
社会性を身につけた  
たくましい稲田学園生

### 児童生徒の実態調査

#### 【学習面】

- ・基礎学力が二極化傾向にある。
- ・将来の夢や希望をもてない児童生徒があり、学習意欲にムラがある。
- ・課題解決には意欲的だが、解決の見通し、粘り強さは不足している。
- ・自己の考えを表現し、他の考えを基に自己の考えを深めつつある。

#### 【生活面】

- ・明るく活発で、助け合って生活している。
- ・場に応じた正しい言葉遣い、あいさつが身に付いてきているが不十分である。
- ・規範意識など、基本的な生活習慣の定着が十分でない児童生徒がいる。
- ・自主的な態度は身に付けつつあるが、自ら課題を見つけ、工夫することは十分でない。

### 社会で求められている力

【グローバル化、高度情報化】

○「国際対話力」

- ・語学力（英語力） ・情報技術力
- ・表現力（論理性、論旨の明快さ）

【環境問題対応と多文化共生】

○「共生の精神」

- ・日本人としてのアイデンティティ
- ・他国文化の理解 ・異なるものへの尊敬

【価値観の多様化】

○社会生活をする上での基礎基本

【社会の階層化】

○自らの生き方を追究する態度

### 小中一貫教育 テーマ

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む児童生徒の育成  
～キャリア教育を核として～

#### 【趣旨】

児童生徒一人ひとりに、将来の夢や希望を持たせ、「学ぶこと」「働くこと」「生きること」を考えさせ、社会的自立を目指すキャリア教育に小中学校が一貫して取り組み、稲田小中の教育目標である人間力の育成を図る。

### 平成 28 年度

プール等の解体  
新校舎建設工事開始

### 稲田学びのイノベーション

- (1) 子ども同士が教え合い学び合う協働的な学びの実践（ICTを取り入れたアクティブ・ラーニング）  
ア ICT機器を活用した高め合う「学び」を通じた思考力・判断力・表現力の育成  
イ 発信型の学習を通して須賀川の未来を担い、国際社会で活躍するためのスキルとグローバルな視点をもって、自らの力で問題を解決しようとする態度の育成
- (2) コミュニケーションを育む外国語活動の実践

### 平成 29 年度

本校舎建設完成  
中学校校舎改修

### 平成 30 年度

稲田小中一貫校開校

### 豊かな心の育成

- きまりを遵守する態度
- 美しいものに感動する心
- 人間関係形成・社会形成能力

【教育の重点化】

○共生の精神を醸成する道徳教育の充実

○学校行事における交流・体験活動の充実

○感性を磨く読書や文化活動の充実

○コミュニケーション・スキルの育成と異文化交流を推進する外国語指導の充実

### 自己の良さを生かす態度の育成

- 自己理解・自己管理能力
- キャリアプランニング能力

【教育の重点化】

○社会的視点に立った自己理解を促す道徳の時間や特別活動の充実

○「自己の在り方・生き方」を考えさせる総合的な学習の時間の充実

○総合的な学習や特別活動での「働くこと」の意義の理解と自らが果たすべき役割の理解の充実

○児童生徒の主体性を育む特別活動の充実

### 確かな学力の定着

- 「読み」「書き」「計算」の基礎学力
- 課題対応能力
- 生涯にわたって学ぶ態度

【教育の重点化】

○全ての教科の基礎となる国語、算数・数学の基礎学力の充実

○実験や体験活動などの多様な指導方法による教科指導の充実

○家庭学習の充実のための支援

○学習の手引きによる支援

### 健康・体力の維持向上

- 体力の維持増進に向けた実践力
- 健康診断結果から、健康状態を理解する力
- 食を通じた健康に係る自己管理能力

【教育の重点化】

○指導方法の工夫改善による体育の授業充実

○児童生徒主体の体育的行事の充実

○業間や昼休みの運動を促進する

○望ましい食習慣の定着

### 【指導の実際】

【一貫性をもたせる指導】  
・異年齢や高齢者等の交流  
・自然体験や社会参加体験

【一貫性をもたせる取組】

- ◇特別活動（学校行事）
- ◇入学説明会
- ◇福祉、ボランティアの縦割り活動（地域清掃、地域運動会、地域文化祭参加）
- ◇道徳の時間
- ◇ふるさと教育 ・ゲストティーチャー
- ◇松明づくり製作
- ◇朝の読み聞かせ
- ◇学校評議員合同実施
- ◇総合的学習の発表会
- ◇合同生徒指導委員会
- ◇子育てチャトルカード

### 【指導の実際】

【一貫性をもたせる指導】  
・自己の良さや改善点を見つめる活動  
・児童生徒の企画立案、実践、評価を尊重した教育活動

【一貫性をもたせる取組】

- ◇各教科・領域等におけるキャリア教育の充実
- ◇総合的な学習の時間
- ◇発達段階に応じた生き方の追究
- ◇社会参加体験
- ◇職場体験、職場調査
- ◇小中合同秋華祭
- ◇学級・学年企画発表
- ◇公民館との連携
- ◇児童会・生徒会活動の充実及び交流

### 【指導の実際】

【一貫性をもたせる指導】  
・課題解決学習、学び合い活動  
・習熟度別学習、T T指導や乗り入れ授業

【一貫性をもたせる取組】

- ◇9年間を見通したカリキュラムの作成
- ◇基礎・基本（国語、算数・数学）の充実
- ◇英語、国語、体育、音楽の交流の充実
- ◇特別支援教育の充実
- ◇英語、数学、漢字検定の奨励
- ◇家庭学習の充実  
学年×15分（1～9年）
- ◇ノーメディアデーの実施（家族の日）
- ◇学習の手引き作成
- ◇学びの習慣づくり（下敷きの配付）

### 【指導の実際】

【一貫性をもたせる指導】  
・スポーツテストや健康診断などの自己分析に基づく運動や健康管理の実践

【一貫性をもたせる取組】

- ◇特別活動（体育的行事）
- ◇部活動の早期体験、体験入部
- ◇食育の充実
- ◇給食の時間、学級活動、体育、給食の時間と教科の連携
- ◇学校保健委員会の実施
- ◇「自分手帳」の活用
- ◇保健体育、学級活動、家庭科

## 6 小中一貫教育先行モデル事業・地域との連携

### 先行モデル事業「学校司書配置」

- 学校図書館の「学習センター」「読書センター」「情報センター」としての機能を充実させ、アクティブラーニングを効果的に実践できるようにします。
- 中学校区に配置し、系統的な学習活動支援と読書活動支援を実践し、小中一貫教育の充実を図ります。
- 地域図書館との積極的に連携することにより、児童生徒が本に親しむ機会を増やし、読書の日常化を図ります。



### 先行モデル事業「教員交流研修」

【目的】小・中学校の教員が異校種の教育活動に参加することにより、教育活動・内容や児童生徒の理解を深め、教員としての資質の向上を図り小中一貫教育を推進します。

【内容】教員(含養護教諭)全員、1日研修

研修先の日程等に応じて授業や会議、行事、部活動等の校務運営に当たります。

### 先行モデル事業「稲田小中学校一貫教育地域運営協議会」

【目的】小中一貫教育の進行計画、推進方法、推進状況などについて検討するとともに、助言・提言・評価を行い、小中一貫教育を実効あるものとしします。

【内容】学校評議員会等の既存の組織を活用し、地区の特色ある小中一貫教育を共有し、支援するための組織です。校長等、学校評議員、地域代表、PTA代表等を委員とし、教育委員会事務局がサポートしていきます。



### 「稲田小中学校人材バンク(学校サポーター)」

【目的】稲田地区の方々に学習等のサポートをしていただき、教育効果をさらに向上させることを目指し、地域の方々と触れ合う中で、子どもたちのキャリア発達を促していきます。

【内容】学習サポート、クラブ・部活動サポート、環境サポート、キャリア教育サポート、交通指導サポート等

### 「稲田中学校松明づくり協力会」

須賀川市の伝統行事である「松明あかし」に参加する稲田中学校の本松明製作・運搬・設置に、明るいまちづくりの会稲田地区委員会、稲田地区区長会、稲田公民館、民間事業所等に協力いただいています。

## 7 平成 30 年 4 月一貫校開校にむけて

### 〈稲田小中一貫教育振興計画〉

26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎設計</li> <li>保護者説明会</li> <li>組織計画作成</li> <li>実践開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中一貫連絡協議会</li> <li>地域運営協議会開催</li> <li>授業、行事合同開催</li> <li>教育課程編成実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎改築説明会</li> <li>プール解体工事着工</li> <li>新校舎建設着工</li> <li>民間プール、グラウンド使用</li> <li>先行モデル事業開始</li> <li>一貫校教育課程編成</li> <li>新校務分掌検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>竣工</li> <li>新校務分掌等試行</li> <li>一貫校教育課程完成</li> <li>先行モデル事業実施</li> <li>一部新校舎中学生利用</li> <li>中学校既存校舎大規模改修</li> <li>引っ越し作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開校</li> <li>一体型小中一貫教育実施</li> <li>小学校校舎解体</li> <li>グラウンド造成、プール建設工事開始</li> </ul>

### 〈稲田小中一貫校工事スケジュール〉

	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
プール解体	28.5 ~ 28.6			
新校舎建設	28.7 ~ 29.10			
中学校改修			29.10 ~ 30.2	
給食室工事			29.9 ~ 30.2	
校舎外構			29.8 ~ 30.2	
旧校舎解体			30.6 ~ 30.12	
プール建設				31.1 ~ 31.6
グラウンド造成			31.1 ~ 31.10	

### 〈新校舎完成予想図〉



南東部から見た新校舎外観



新校舎図書室

## 8 稲田小中一貫教育についての Q&A

### Q1 小中一貫教育のメリットはなんですか？

**A** 小学校と中学校とが6・3制の区切りにとられることなく、義務教育9年間のスパンで目指す子どもの姿を共有して、子どもたちの発達段階に応じた継続的な学習指導・生活指導を行うことによって、質の高い教育を行うことができ、より大きな教育効果をあげることが出来ます。

### Q2 小中一貫校では特別な教育を行うのですか？

**A** 現在の文部科学省で定めている学習指導要領に沿ってカリキュラムを編成し教育活動を行っています。しかし小学校の段階で教科担任制を導入したり、中学校教員が小学生を指導したり、小学生が部活動に参加したりするなど、小中一貫教育のメリットを生かすとともに、キャリア教育やふるさと教育を中心に、「稲田小中一貫校(仮称)」の特色を出した教育を行っています。

### Q3 学校名などはどうなりますか？

**A** 須賀川市教育委員会では、平成30年4月開校の「稲田小中一貫校(仮称)」は併設型小学校・併設型中学校として開校する予定です。そのためこれまでの稲田小学校、稲田中学校の名称はそのまま残ります。しかし一貫校としてスタートするので、愛称名を作ることを検討しています。

### Q4 学校行事はどうか変わりますか？

**A** それぞれ小学校・中学校の入学式及び卒業式は行われます。また学校行事については、合同で開催するもの、子どもたちの発達段階を考慮して分けて開催するものなど、これまでの小・中学校で行われてきた学校行事の伝統を踏まえながら、より子どもたちにあった学校行事のあり方について考えてまいりたいと思います。

### Q5 学校の組織はどうなるのですか？

**A** 小・中学校の教員組織は一つになり、一つの職員室で先生方は執務します。PTAや体育文化後援会、学校評議員会などの組織は一体化する予定です。

**須賀川市立稲田小学校**

〒962-0043 須賀川市岩淵字岡谷地 1  
TEL: 0248-62-2806 FAX: 0248-92-3376  
e-mail: inada-e@fcs.ed.jp

**須賀川市立稲田中学校**

〒962-0043 須賀川市岩淵字岡谷地 50  
TEL: 0248-62-2804 FAX: 0248-92-3412  
e-mail: inada-j@fcs.ed.jp